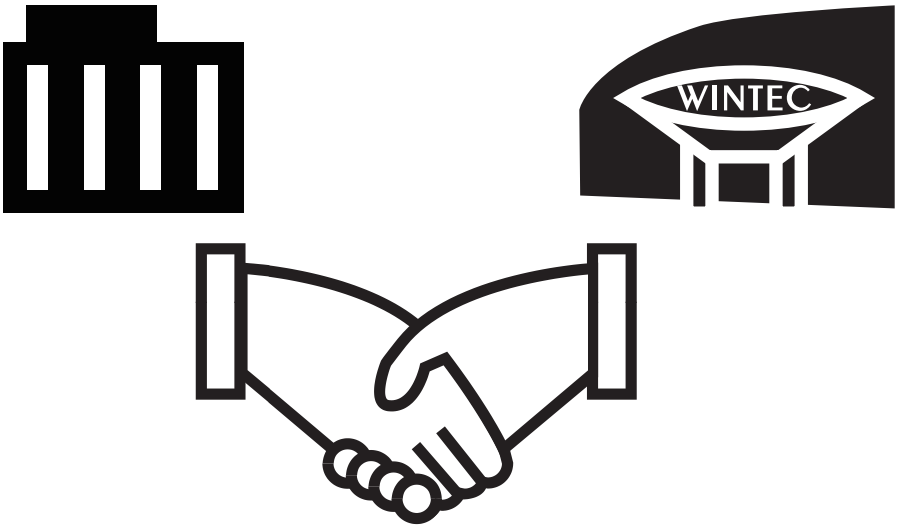
和歌山県工業技術センター

ご利用の手引き



平成 20 年

和歌山県工業技術センター
WINTEC
INDUSTRIAL TECHNOLOGY CENTER OF WAKAYAMA PREFECTURE

1. ご挨拶

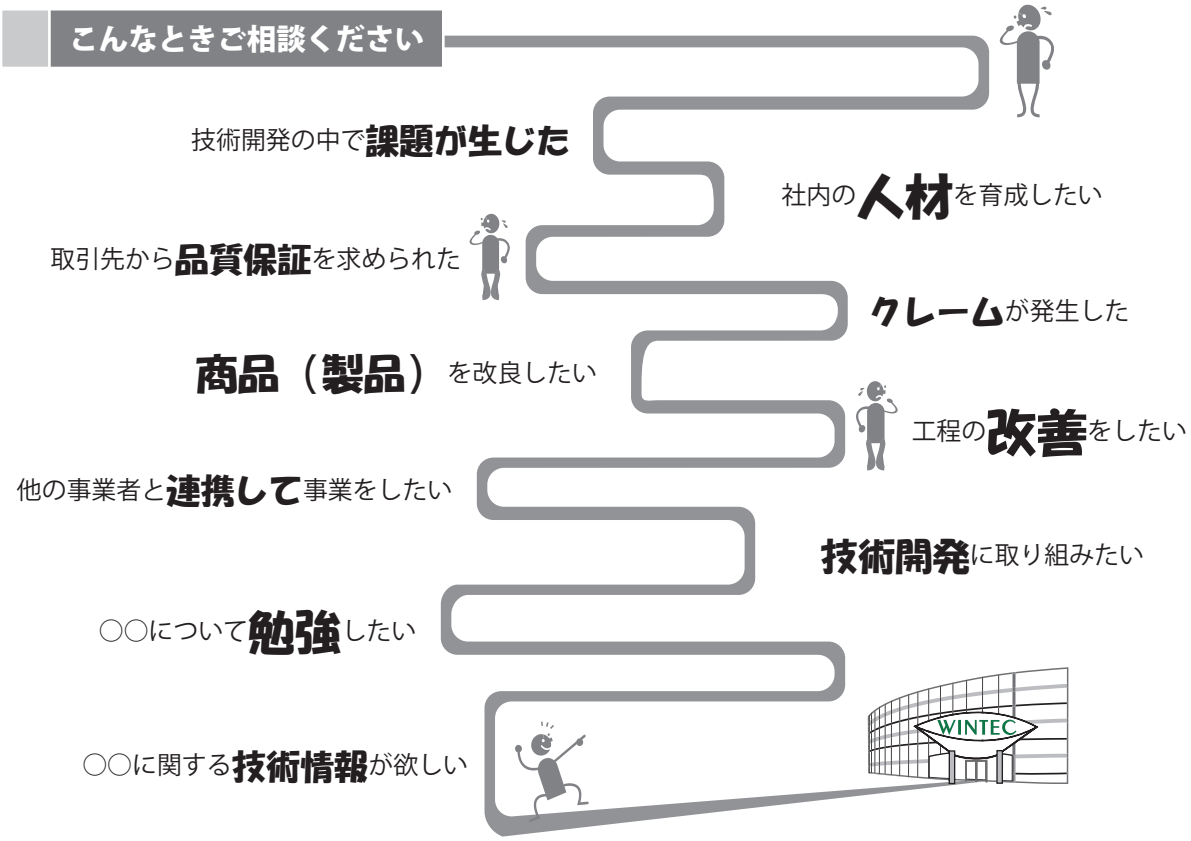
和歌山県工業技術センター
所長

当センターの役割は、県内企業の技術支援と産業育成をミッションに地域の独自性を活かしたコア技術の育成・展開を図り、中小企業支援を推進していくことです。

国でも地域経済活性化に向けた種々の政策として、地域の強みの発揮による経済の活力向上を推進しています。このような背景の中、当センターにおきましても、地域資源活用の新事業創出やブランド品創出に向けた取り組みを推進しています。

その基盤となりますのは、技術相談・技術指導、受託試験・受託研究などの充実です。また、企業の現場密着の取り組みである研究スタッフ派遣を今年も継続して実施していきます。もう一つの重要な取り組みは、ものづくり支援に向けた技術開発と実用化支援であり、高度部材を支える要素技術に差別化を図ります。都市エリア産学官連携促進事業発展型、戦略的研究開発プランなどを通じて、企業や大学との連携による取り組みで成果を加速させていきます。

今年も企業の人材育成支援の講習会や研究交流会などを通して、新技術開発・事業化支援に全力を尽くすとともに、顧客満足度向上という原点に戻り、“企業により役に立つ、より頼りになる工業技術センター”を目指していきますので、よろしくお願い申し上げます。



2. 業　務　概　要

工業技術センターは、様々な技術で地域産業をバックアップします。

進展する技術革新に対応した、地域の中核的研究施設として、県内企業の技術力、研究開発力の向上のため、総合的な研究開発、受託試験・分析、技術相談・指導、技術研修、技術情報の提供などの業務を行っています。なお研究会、産学官共同研究の一部は（財）わかやま産業振興財団､わかやま地域産業総合支援機構（らいぽ）と連携して行っています。

研究開発

地域産業の技術向上に直接役立つ研究を行っています。取得した県有特許は企業に通常実施権を許諾します。県単独事業の他に国庫補助、国からの委託研究を行なっています。

- ○ **萌芽研究、高度支援技術創成研究（一般枠、グループ枠）**：近い将来必要となる技術について、県費で独自に研究を進めています。
- ○ **戦略的研究プラン**：技術シーズの企業への移転を行い実用化を目指して県費で研究します。
- ○ **受託研究**：企業からの要望に応じて研究を受託しています。
- ○ **産学官共同研究**：企業や大学、独立行政法人産業技術総合研究所などと共同で研究を行っています。

試験・分析（有料）

企業からの依頼に基づき、JIS 規格、その他の試験・分析を行います。基本的には、来所による申請ですが、郵送による試験・分析を受け付けています。

＊「和歌山県使用料及び手数料条例」により定められた料金を納付していただきます。（「試験･分析使用料及び手数料」参照）

また設備機器の貸付を行っています。

＊「和歌山県工業技術センター機器貸付要綱」で定められた料金を納付していただきます。（「設備機器の貸付」参照）

技術相談・指導（無料）

技術的課題の解決のため、当センターの研究員が無料で相談・指導に応じます。

技術研修（有料）

研究能力向上のため、企業等から研修生を受け入れています。

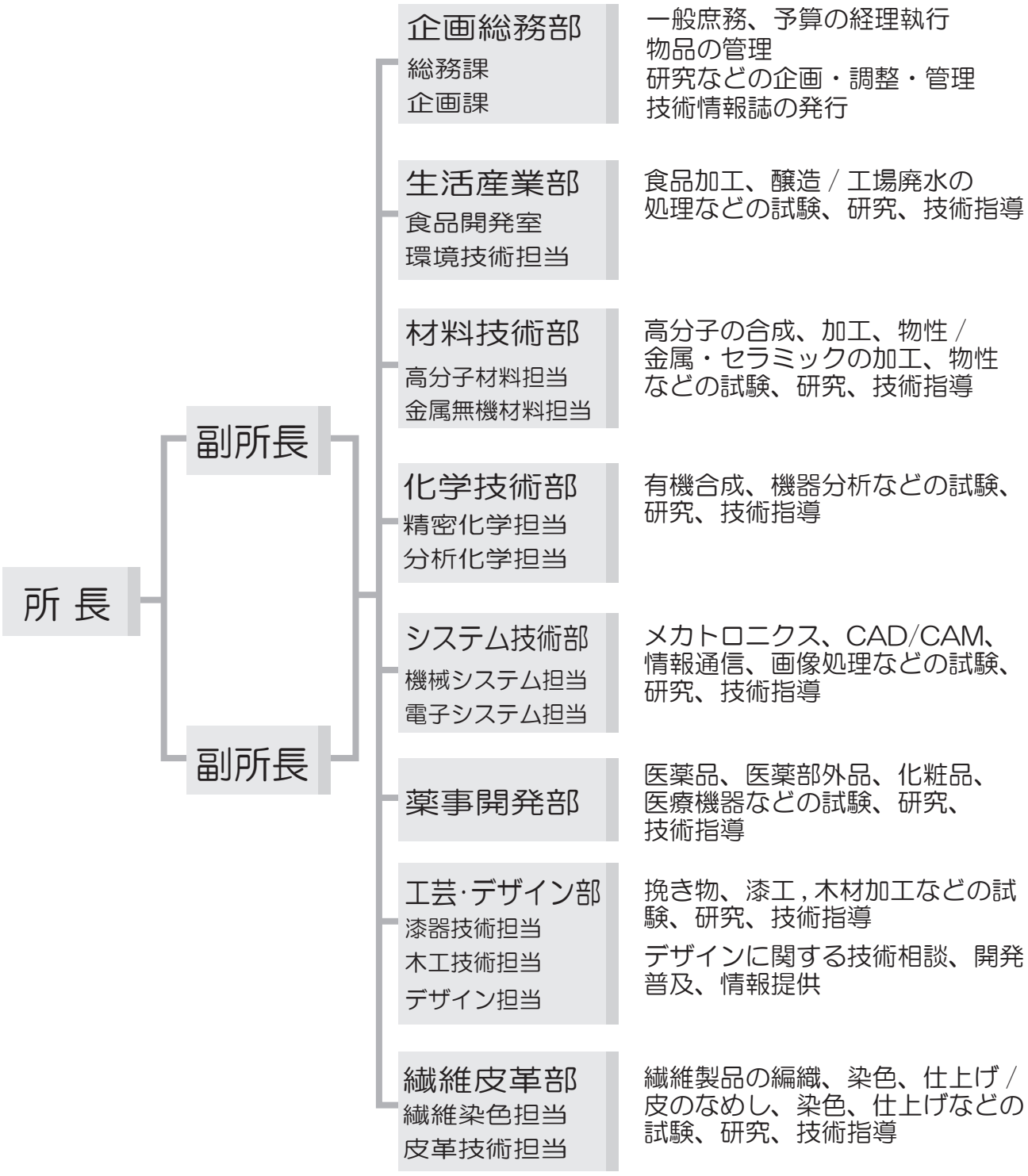
＊ 研修にかかる消耗品等は実費負担です。

技術情報の提供（無料）

技術情報誌、研究報告を発行（ホームページにも掲示）しています。技術普及発表会を開催します。

わかやま産業振興財団、わかやま地域産業総合支援機構（らいぽ）と協力して、技術研究会等を開催します。また図書、雑誌の閲覧もできます。

3. 組　織


所 長
副所長
副所長
企画総務部
総務課
企画課
一般庶務、予算の経理執行
物品の管理
研究などの企画・調整・管理
技術情報誌の発行
生活産業部
食品開発室
環境技術担当
食品加工、醸造 / 工場廃水の
処理などの試験、研究、技術指導
材料技術部
高分子材料担当
金属無機材料担当
高分子の合成、加工、物性 /
金属・セラミックの加工、物性
などの試験、研究、技術指導
化学技術部
精密化学担当
分析化学担当
有機合成、機器分析などの試験、
研究、技術指導
システム技術部
機械システム担当
電子システム担当
メカトロニクス、CAD/CAM、
情報通信、画像処理などの試験、
研究、技術指導
薬事開発部
医薬品、医薬部外品、化粧品、
医療機器などの試験、研究、
技術指導
工芸·デザイン部
漆器技術担当
木工技術担当
デザイン担当
挽き物、漆工 , 木材加工などの試
験、研究、技術指導
デザインに関する技術相談、開発
普及、情報提供
繊維皮革部
繊維染色担当
皮革技術担当
繊維製品の編織、染色、仕上げ /
皮のなめし、染色、仕上げなどの
試験、研究、技術指導

4．職員の所属

平成20年度(2008)

所属	担当名	職員名		専門分野
		所長	請川 孝治 2)	石油精製･エネルギー
		副所長(事務)	辻岡 健志	
		副所長(技術)	中岡 元信 2)	排水処理･分析化学
企画総務部		部長	中内 道世	食品分析･食品加工
	総務課	総務課長	宮本 明英	
		主査	中尾 利樹	
		副主査	橋本 恭子	
		現業技能員	中村 浩規	
		用務員	片山 貴子	
	企画課	企画課長	山口 和三 4)	高分子材料･高分子加工技術
		主任研究員	伊藤 修 6)	高分子化学･複合材料
		主任研究員	古田 茂	ﾒｶﾄﾛﾆｸｽ･精密測定
		主任	山下 正彦	
		副主査研究員	岡本 良作 6)	画像処理･自動化システム
生活産業部		部長(兼食品開発室長)	池本 重明 1)	応用微生物･生物工学
	食品開発室	主査研究員	山西妃早子	食品分析･栄養学
		主査研究員	阪井 幸宏 6)	遺伝子工学･分子生物学
		副主査研究員	三宅 英伸 7)	農芸化学
		研究員	赤木 知裕 8)	食品加工･薬学
		研究員	木村美和子	食品分析
	環境技術担当	特別研究員	花本 敏和	排水処理
		主任研究員	高辻 渉 2)	生物化学工学･拡散分離
		副主査研究員	山際 秀誠 7)	生物工学･排水処理
材料技術部		部長	前田 育克 2)	高分子化学･高分子物理
	高分子材料担当	主査研究員	前田 拓也	高分子物性･高分子材料
		副主査研究員	橘 熊野 2)	高分子化学･有機合成･超分子化学
		副主査研究員	山下 宗哲 2)	実装材料･接合体評価
	金属無機材料担当	主査研究員	今西 敏人	セラミックス･無機材料
		副主査研究員	時枝健太郎 6)	金属材料･凝固･結晶成長
		副主査研究員	重本 明彦 2)	金属材料･物性物理
		副主査研究員	永坂 博文	金属材料･金属分析
化学技術部		部長	小畑 俊嗣	分析化学･無機化学
	精密化学担当	主査研究員	細田 朝夫 2)	有機合成･有機化学
		副主査研究員	森 一 1)	有機合成･有機化学
		副主査研究員	三宅 靖仁 2)	有機合成･超分子化学
		副主査研究員	多中 良栄 1)	有機化学
	分析化学担当	主査研究員	高垣 昌史	分析化学･有機化学
		主査研究員	松本 明弘 2)	分析化学
		研究員	大﨑 秀介 2)	分析化学･分子認識化学
		研究員	森 めぐみ 5)	分析化学･有機化学
ｼｽﾃﾑ技術部		部長	前田 裕司 2)	電子工学･数理工学
	機械システム担当	主任研究員	新山 茂利	金属材料･金属分析
		主任研究員	坂下 勝則	生産機械･ﾃﾞｼﾞﾀﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ
		副主査研究員	花坂 寿章	機械技術･金属加工
		副主査研究員	徳本 真一 2)	ﾒｶﾄﾛﾆｸｽ
	電子システム担当	主査研究員	上野 吉史	電子工学･EMC
		主査研究員	伊東 隆喜 2)	ﾚｰｻﾞｰ･半導体･AMP･組込み･情報ﾘﾃﾗｼ
		主査研究員	中本 知伸 6)	応用物理･ゲル物性
		副主査研究員	竿本 仁志 2)	ﾚｰｻﾞｰ･半導体工学
薬事開発部		部長	丸岩 敏和	医薬品等分析
		主任研究員	橋爪 崇 8)	医薬品等分析･生薬試験
		主査研究員	高松 朗	医薬品等分析
		副主査研究員	石原 理恵 8)	医薬品等分析･生薬試験
		副主査研究員	石山 久志	医薬品等分析
工芸･デザイン部		部長	岩橋 巧	挽物加工
	漆器技術担当	主任研究員	沖見 龍二	漆工技術
	木工技術担当	主任研究員	播摩 重俊	木材加工
		主査研究員	梶本 武志	木材工学･木質環境技術
		副主査研究員	下林 則夫 6)	分析化学･有機化学
	デザイン担当	主任研究員	山本 芳也	ﾆｯﾄ･繊維材料･繊維物性
		主査研究員	由井 徹	工業デザイン･WEBデザイン
繊維皮革部		部長	大萩 成男 2)	色彩応用技術･染色加工
	繊維染色担当	主任研究員	角谷 秀昭	織物技術･繊維製品評価
		主査研究員	解野 誠司 2)	染色加工
		主査研究員	鳥飼 仁	繊維機械･繊維物性評価
		副主査研究員	中村 允 2)	有機合成･分析化学
		研究員	宮本 昌幸 6)	情報処理･画像処理
	皮革技術担当	主任研究員	田口 義章	金属材料
		副主査研究員	由良 好史	分析化学･繊維製品評価

1)博士(理学) 2)博士(工学) 3)博士(農学) 4)博士(学術) 5)修士(理学) 6)修士(工学) 7)修士(農学) 8)修士(薬学)

5. 受　託　試　験

企業の技術開発、生産技術等を支援するため、企業からの依頼に基づき、
JIS 規格、その他の試験・分析を行います。
ご依頼は電話、FAX、電子メール等で受け付けております。

ご利用の手順

企業

① まずは、お電話ください

② 所内で検討後、打合せ

③ 試験分析等申請書・試験試料等 提出
手数料納入（県証紙購入・貼付）

④ 試験開始

⑤ 成績書及び試験結果

和歌山県工業技術センター

電話：（073）477-1271
FAX:（073）477-2880
E-mail:
wintec@wakayama-kg.go.jp

注：試験内容により手順の変更があります

受　付

受託試験は、随時受け付けています。電話・FAX・メール等でお問合せください。

電話：（073）477-1271（代）　　FAX：（073）477-2880
E-Mail：wintec@wakayama-kg.go.jp

- ❑ まず、電話等で受託試験の具体的内容をお聞きします。
- ❑ センターで対応可能な場合は、下記の要領で担当研究員と打ち合わせを行います。
  ※お電話の中で、ご来所いただく場合は日時を担当研究員と調整してください。

打ち合わせ

下記事項について担当研究員と打ち合わせを行います。

- ❑ 試験分析の詳細な内容（試料の持参・郵送の別、試料の量、試験項目　等）
- ❑ 試験分析の手数料（手数料は、和歌山県使用料及び手数料条例により定められています。）
- ❑「試験分析等申請書」の入手・記載方法
- ❑ 試験分析の終了予定日
- ❑ 試験・分析後の試料返却の要・不要・受け渡し方法
- ❑ その他

提出していただく物

試験分析等申請書・試験試料の提出、手数料を納入していただきます。

- ❑「試験分析等申請書」を提出していただく際には、社印、依頼者の印は不要です。
- ❑ 手数料は、申請時に原則として和歌山県証紙により納入していただきます。
  （口座振込みによる証紙販売も利用できます、詳しくは総務課までお問合せください。）

電話：（073）477-1271（代）

結果の通知

試験・分析が終了しましたら、担当研究員から連絡いたします。

- ❑ 試験結果について担当研究員からの説明をご希望の際には、前もって担当研究員と来所する日時を調整してください。
- ❑ 成績書の郵送を希望される場合は郵送料を負担していただきますのでご了承ください。

ご利用等

和歌山県内外の何れの企業もご利用できます。

試験分野・費用

試験・分析　使用料及び手数料のページを参照してください。

6. 試験・分析　使用料及び手数料

和歌山県使用料及び手数料条例(昭和２２年和歌山県条例第２８号) 平成18年4月1日改正より

1　一般化学分析		
ア　定性	1試料1成分につき	1,990円
イ　定量	1試料1成分につき	4,620円
2　機器分析		
ア　元素分析		
（ア）　鉄鋼炭素硫黄分析	1試料につき	4,510円
（イ）　有機元素分析	1試料につき	6,720円
イ　分光分析		
（ア）　高周波プラズマ発光分析		
a　定性	1試料1成分につき	10,290円
b　定量	1試料1成分につき	5,140円
（イ）　原子吸光分析	1試料1成分につき	4,620円
（ウ）　赤外分光分析		
フーリェ変換型	1試料につき	4,830円
（エ）　その他分光分析	1試料1成分につき	3,570円
ウ　クロマト分析		
（ア）　分子量分布測定	1試料につき	10,180円
（イ）　その他クロマト分析	1試料1成分につき	5,140円
エ　質量分析		
（ア）　飛行時間型質量分析	1試料につき	15,220円
（イ）　ガスクロマトグラフィ質量分析	1試料につき	7,770円
オ　X線分析		
（ア）　蛍光X線分析		
a　定性	1試料1測定につき	7,980円
b　定量	1試料1成分につき	5,040円
c　ポイント分析	1試料1点につき	19,430円
d　ヘリウム分析	1試料1測定につき	3,050円
（イ）　X線回析		
a　定性	1試料1測定につき	5,560円
b　定量	1試料1成分につき	5,560円
c　その他X線回析	1試料1成分につき	6,930円
（ウ）　単結晶X線分析	1試料につき	76,960円
カ　核磁気共鳴分析		
（ア）　水素	1試料につき	9,130円
（イ）　炭素	1試料につき	14,590円
キ　熱分析		
（ア）　熱重量、示差熱、熱走査分析	1試料1項目につき	6,090円
（イ）　熱機械特性	1試料につき	6,090円
ク　表面分析		
X線光電子分光分析	1試料につき	14,590円
ケ　その他機器分析	1試料1成分につき	3,780円
3　材料試験		
ア　強度試験		
（ア）　引張		
a　糸・布	1試料につき	3,150円
b　金属材料	1試料につき	1,780円
c　引張強度に伸びを付加	1試料につき	1,470円
d　高分子材料	1試料につき	3,050円
e　その他材料	1試料につき	3,040円
（イ）　衝撃	1種類につき	3,250円

（ウ） 圧縮		
a 木製品・紙製品耐圧	1試料につき	1,470円
b 高分子材料	1試料につき	3,050円
c その他一般	1試料につき	520円
d その他特殊	1試料につき	1,150円
（エ） 曲げ		
a 高分子材料	1試料につき	3,050円
b その他材料	1試料につき	1,150円
（オ） 疲労		
高分子材料	1試料につき	4,620円
（カ） 抗折	1試料につき	1,150円
イ 応力		
内部応力	1試料につき	5,140円
ウ 硬度試験		
（ア） 超微小硬度	1試料1測定につき	1,780円
（イ） ブリネル、ビッカース、ロックウェル	1試料1測定につき	1,890円
（ウ） その他硬度試験	1試料1測定につき	1,780円
（エ） 硬さ分布	1試料10測定まで	2,940円
（オ） 硬さ分布	10測定追加につき	2,100円
エ 金属組織試験		
（ア） マクロ試験	1視野につき	2,100円
（イ） その他金属組織試験	1視野につき	2,100円
オ 摩耗試験		
（ア） 大越式	1試料につき	2,310円
（イ） テーバー型	1試料につき	2,200円
カ 非破壊試験		
（ア） X線透過		
a 工業用サイズ	1枚につき	3,250円
b 特殊サイズ	1枚につき	5,140円
（イ） X線CT	1測定につき	7,350円
キ その他材料試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円
4 電子顕微鏡試験		
ア 一般撮影 高倍率	1試料につき	10,080円
イ 一般撮影 低倍率	1試料につき	5,570円
ウ 元素分析	1試料につき	12,080円
5 精密測定		
ア 形状測定		
（ア） 長さ、角度	1測定につき	4,090円
（イ） 真円度、円筒度、直角度	1測定につき	2,520円
（ウ） 表面粗さ		
a 一般	1測定につき	2,620円
b 3次元	1測定につき	5,140円
（エ） 輪郭形状	1測定につき	2,100円
イ 特殊測定		
（ア） 3次元測定	1測定につき	2,620円
（イ） メッキ厚測定	1測定につき	1,890円
（ウ） 高速度観察測定	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	4,620円
（エ） 熱画像測定	1試料につき	3,670円
（オ） 測色	1測定につき	2,410円
ウ その他精密測定	1測定につき	4,830円
6 物性測定		
ア 化学物性測定		
（ア） 水素イオン濃度、電気伝導度、比重、密度、粘度	1試料1項目につき	1,050円
（イ） 水分率・吸水率測定	1試料につき	940円

イ　粉粒体物性測定		
（ア）　粒度分布測定	1試料につき	4,520円
（イ）　比表面積測定	1試料につき	5,350円
（ウ）　密度測定	1試料につき	3,150円
ウ　動的粘弾性測定		
温度分散	1試料につき	7,030円
エ　その他物性測定	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円
7　拡大観測		
ア　光学顕微鏡観測	1視野につき	2,310円
イ　その他拡大観測	1視野につき	1,890円
8　電気試験・測定		
ア　電気特性試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	4,100円
イ　EMC測定(エミッション／イミュニティ測定)	1試料1項目につき	20,580円
ウ　EMC測定(その他)	1試料1項目につき	4,310円
9　環境試験・測定		
ア　騒音測定		
（ア）　レベル	1試料につき	3,150円
（イ）　周波数分析	1試料につき	3,250円
イ　振動測定	1試料につき	3,570円
ウ　腐食試験		
塩水噴霧、キャス	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	500円
エ　恒温恒湿試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,500円
オ　耐候試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	900円
カ　その他環境試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,800円
10　微生物試験		
ア　定性	1試料1項目につき	1,150円
イ　定量	1試料1項目につき	2,310円
ウ　その他微生物試験	1試料1項目につき	6,400円
11　変異原性試験		
ア　エイムス試験	２株(1試料につき)	60,270円
イ　エイムス試験	５株(1試料につき)	119,600円
ウ　ウムテスト	1試料につき(キット代は別に実費を徴収する)	14,390円
12　特定分野試験		
ア　高分子(材料及び製品に限る。)		
（ア）　耐熱試験	1試料につき	3,670円
（イ）　混練特性	1試料につき	6,300円
（ウ）　荷重たわみ温度	1試料につき	10,190円
（エ）　全光透過率	1試料につき	2,940円
（オ）　その他高分子試験	1試料1成分につき	6,190円
イ　繊維(糸、布及び加工布に限る。)		
（ア）　物性試験		
a　風合い測定	1試料1項目につき	2,200円
b　編目長	12口(12口未満は12口とする)につき	2,840円
c　寸法変化	1試料につき	2,100円
d　破裂	1試料につき	2,310円
e　通気度	1試料につき	1,990円
f　引裂き	1試料につき	3,360円
g　滑脱	1試料につき	4,200円
h　パイル保持率	1試料につき	6,300円
i　その他物性試験	1試料1項目につき	3,040円
（イ）　組織分解	組織点100点(100点未満は100点とする) につき	3,990円
（ウ）　繊維鑑別	1試料1成分につき	2,200円
（エ）　混用率試験		
a　溶解法	1試料1成分につき	5,350円
b　解じょ法	1試料1成分につき	3,250円

（オ） 編成試験（ローソン1本編機使用）		
a 糸状試料	1組織につき	2,830円
b 解じょ再編成試験	12口（12口未満は12口とする）につき	3,680円
（カ） 燃焼性試験	1試料につき	4,090円
（キ） 加工布性能試験	1試料1項目につき	4,620円
（ク） 染色加工試験	1試料につき	4,090円
（ケ） 染色堅ろう度試験		
a 塩素、ドライ、酸化窒素ガス	1試料1項目につき	1,890円
b キセノンアーク耐光試験	1試料JIS4級照射につき	3,050円
c 分光照射試験	10時間につき	1,890円
d その他染色堅ろう度試験	1試料1項目につき	730円
（コ） 繊維外観観察	1試料につき	1,050円
（サ） 繰り返し洗濯試験	1試料1サイクルにつき	1,470円
ウ 食品		
（ア） 醸造用水試験		
a 定性	1試料1成分につき	1,150円
b 定量	1試料1成分につき	2,410円
（イ） 食品物性試験	1試料1項目につき	2,830円
（ウ） 食品保存試験		
a 食品保存試験	1試料24時間まで	1,470円
b 食品保存試験	24時間を超え24時間（24時間未満は24時間とする）につき	110円
（エ） おり下げ試験	1試料につき	3,250円
（オ） 食品添加物試験		
a 定性	1試料1成分につき	3,670円
b 定量	1試料1成分につき	4,410円
（カ） 酸度、塩度、糖度試験	1試料1成分につき	2,100円
（キ） 食品成分試験	1試料1成分につき	3,670円
（ク） 栄養成分試験	1試料（5成分）につき	19,300円
（ケ） その他食品試験	1試料1項目につき	4,510円
エ 木工		
（ア） 机いす繰返し衝撃	1試料につき	3,460円
（イ） キャスター試験		
a 荷重走行	1試料につき	3,040円
b 耐荷重	1試料につき	1,470円
c 車輪振れ	1試料につき	1,470円
（ウ） 塗料物性試験	1試料につき	3,570円
（エ） 塗膜試験	1試料につき	1,780円
（オ） その他木工試験	1時間（1時間未満は1時間とする）につき	3,800円
オ 機械金属		
動釣合試験		
a 100キログラム未満のもの	1試料につき	6,190円
b 100キログラム以上のもの	1試料につき	10,080円
カ 皮革		
（ア） 皮革物性試験		
a 吸湿度	1試料につき	1,680円
b 透湿度	1試料につき	1,150円
c 耐水度	1試料につき	1,260円
d 吸水度	1試料につき	1,470円
e 液中熱収縮温度	1試料につき	840円
f 革染色摩擦堅ろう度	1試料1項目につき	730円
g 摩耗	1試料につき	1,470円
h 空気透過度	1試料につき	1,050円
i 厚さ	1試料につき	730円
j その他皮革物性試験	1試料1項目につき	1,150円

（イ） 皮革化学試験		
a 皮革化学分析	1試料1成分につき	1,780円
b 水分	1試料につき	1,150円
c 脂肪分	1試料につき	1,990円
d 皮質分	1試料につき	1,780円
e なめし度	1試料につき	4,300円
f 耐溶剤	1試料につき	1,470円
キ 医薬品等		
（ア） 定性試験	1成分につき	1,500円
（イ） 定量試験	1成分につき	2,500円
（ウ） 微生物試験		
a 無菌試験	1項目につき	1,570円
b 生菌数試験	1項目につき	1,570円
c 特定菌試験	1項目につき	2,520円
（エ） 製造用水試験	1件につき	5,560円
ク その他特定分野試験	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
13 デザイン・設計		
ア CAD	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	5,350円
イ CG	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	6,510円
ウ その他	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
14 特殊加工		
ア 電子線照射加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,360円
イ プラズマ加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,890円
ウ 機械加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	8,290円
エ 熱処理	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,360円
オ 光造形	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	9,660円
カ その他特殊加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	3,570円
15 特殊データ処理		
ア 画像処理	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	6,300円
イ コンピュータによるデータ解析	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	5,670円
16 漆器の試作及び加工試作又は加工	1時間(1時間未満は1時間とする)につき	1,990円
17 成績書、証明書、検定書及び鑑定書等の交付		
ア 成績書、証明書、検定書及び鑑定書		
（ア） 和文	1通につき	520円
（イ） 英文	1通につき	630円
イ 成績書、証明書、検定書及び鑑定書の副本	1通につき	310円

備考

1 温度指定計測を必要とする場合は、当該手数料の額に温度指定計測の種類に応じ、次に掲げる額を加算する。

(1) 常温より高温度指定 630円

(2) 常温より低温度指定 730円

2 試験分析前処理を必要とする場合は、当該手数料の額に30分(30分未満は30分とする)につき1,900円を加算する。

3 県内に住所又は事務所を有する者以外の者の申請により行う場合は、当該手数料の額に100分の20を乗じて得た額を加算する。

4 写真、カラープリントその他の記録を必要とする場合及び特殊消耗品を必要とする場合は、別に実費を徴収する。

7. 設置機器の貸付

貸付機器一覧

機器分析装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
020	ケルダール式窒素蛋白質分析装置	Buchi324/435	420	生活産業部	山西妃早子
029	フーリエ変換赤外分光光度計	IRPrestige-21	1,310	化学技術部	高垣昌史
043	蛍光X線分析装置	ZSX100e	3,830	材料技術部	重本明彦
044	蛍光分光光度計	FP-6500	790	化学技術部	三宅靖仁
046	原子吸光分析装置	SOLAAR M6	1,960	化学技術部	松本明弘
049	誘導結合プラズマ発光分析装置	ICPS-AES/ULTIMA2	5,050	化学技術部	松本明弘
062	旋光度計	SEPA200	510	化学技術部	細田朝夫
068	卓上型蛍光X線分析装置	SEA-2010L	1,890	化学技術部	高垣昌史
074	動的防水試験機	水槽/ﾁｬｯｸ/ｶｳﾝﾀｰ	200	繊維皮革部	由良好史
077	熱分析装置	セイコー電子工業 SSC-5200型	1,120	材料技術部	前田拓也
094	フーリエ変換赤外分光光度計	SPCTROM2000	3,240	材料技術部	前田拓也
098	紫外可視分光光度計	UV-2550	870	繊維皮革部	解野誠司
099	熱分析装置	EXSTAR6000	1,180	化学技術部	高垣昌史
101	微量水分測定装置	MKS‐510N	1,010	薬事開発部	橋爪　崇

材料試験機

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
004	産業用CTスキャナ（400kV）	TOSCANER-24200AV	17,000	ｼｽﾃﾑ技術部	坂下勝則
004	産業用CTスキャナ（200kV）	TOSCANER-24200AV	11,000	ｼｽﾃﾑ技術部	坂下勝則
022	シャルピー衝撃試験機	LCL-300/40-97701	3,100	材料技術部	時枝健太郎
023	ダイナミック微小硬度計	DUH-200	1,200	材料技術部	時枝健太郎
028	ビッカース硬度計	AVK	60	材料技術部	時枝健太郎
032	ブリネル硬さ試験機	BH-3CF(2356)	1,430	材料技術部	重本明彦
040	機械的特性評価装置	ｵｰﾄｸﾞﾗﾌAG-100KND(W)	4,060	材料技術部	時枝健太郎
042	金属万能材料試験機	RUE-50G	4,240	材料技術部	永坂博文
073	電動ﾛｯｸｳｴﾙ硬度計	ORK-1	70	材料技術部	時枝健太郎
084	摩擦帯電圧測定装置	E.S.T-7型	770	繊維皮革部	鳥飼　仁
085	万能材料試験機	1122型	910	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
086	万能材料試験機	ｲﾝｽﾄﾛﾝ製 4501型5KN容量	1,230	繊維皮革部	田口義章
087	万能材料試験機	RU-100/TK-12C	3,020	材料技術部	永坂博文
088	万能材料測定装置	100KNﾛｰﾌﾟ	2,010	繊維皮革部	角谷秀昭
105	q-max測定装置	KES-F7	870	繊維皮革部	解野誠司
106	糸物性測定装置	FPA／M	1,290	繊維皮革部	鳥飼　仁
107	熱応力測定装置	KE-2S	1,160	繊維皮革部	鳥飼　仁

顕微鏡

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
063	素材表面形状解析システム	SZH-141	1,770	ｼｽﾃﾑ技術部	徳本真一
064	走査型レーザー顕微鏡	ILM21W	1,790	ｼｽﾃﾑ技術部	坂下勝則
078	微生物顕微鏡	AHBS-3514S	1,650	生活産業部	池本重明
097	マイクロスコープ	VH-6300	830	繊維皮革部	解野誠司

精密測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
057	真円度測定機	ﾛﾝｺﾑ5A-03	880	材料技術部	重本明彦
060	精密万能投影機	PJ500L	960	材料技術部	永坂博文

物理測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
026	ハイスピードビデオ	HSV-100	1,790	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
033	フレキシオメータ	YSS	40	繊維皮革部	由良好史
056	食品物性測定装置	CR-500DX型	230	生活産業部	阪井幸宏
061	接触角測定装置	CA-X型	1,980	繊維皮革部	解野誠司
071	通気度測定装置	FX3300	270	繊維皮革部	角谷秀昭
075	動摩擦係数測定装置	SM-MM2-B	490	繊維皮革部	角谷秀昭
079	表面張力計	ＣＢＶＰ－Ｚ型	2,380	繊維皮革部	解野誠司
081	分光測色計	CE-3100	540	繊維皮革部	解野誠司
089	誘電率測定装置	SDM5600-DES100	2,370	材料技術部	前田拓也
091	衣服圧測定装置	AM13037-20	3,080	繊維皮革部	鳥飼　仁
092	回転粘度計	RE550R	2,650	繊維皮革部	解野誠司
095	粒度分布測定装置	SALD-3100	1,270	材料技術部	今西敏人
100	パーティクルカウンター	KC-01C	140	薬事開発部	橋爪　崇
102	波長透過率校正用光学フィルター	JCRM002,JCRM110,JCRM150	70	薬事開発部	橋爪　崇
103	プリンター付表面温度計	TM-5741	30	薬事開発部	橋爪　崇
108	熱画像計測装置	CPA-570（W）	2,030	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史

電気試験･測定器

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
025	ノイズシミュレータ	INS-420	130	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
110	耐電圧・絶縁抵抗試験器	WT-8753	360	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
112	安定化電源装置	AA2000XG	690	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
113	デジタルワットメーター	WT1600	780	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
114	ディジタルマルチメーター	34401A	310	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
115	電源電圧変動試験機	NSG1003/NSG642	820	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
116	静電気試験機	ESS-200A	710	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
117	ﾌｧｰｽﾄ･ﾄﾗﾝｼﾞｪﾝﾄ･ﾊﾞｰｽﾄ試験機	EFT500	740	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
118	雷サージ試験機	LSS-720B	950	ｼｽﾃﾑ技術部	上野吉史
119	光スペクトラムアナライザ	Q8347	2,610	ｼｽﾃﾑ技術部	伊東隆喜
120	光パワーメータ	LaserMate-D	1,390	ｼｽﾃﾑ技術部	伊東隆喜

試作加工機

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
003	大気圧放電加工処理装置	H11年式	1,040	繊維皮革部	解野誠司
006	光造形装置	SOUPⅡ600GS	6,000	ｼｽﾃﾑ技術部	坂下勝則
013	紙造形ｼｽﾃﾑ	KSC-50	940	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	由井　徹
017	NCカットオフマシン	GA260(190KY6-2)	930	ｼｽﾃﾑ技術部	花坂寿章
027	バッフルブース	SBB-151	230	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
035	ユニバーサルスチーマー	ＤＨｅ型	1,940	繊維皮革部	解野誠司
036	ワイヤカット放電加工システム	A500WP(2874)	3,920	ｼｽﾃﾑ技術部	花坂寿章

052	混練押出機	TEX30XSST-315AW-2V	2,120	材料技術部	前田拓也
053	試験用ヒートセッター	AMS－300D	660	繊維皮革部	角谷秀昭
054	試料粉砕機	UP-140	160	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
059	精密汎用旋盤	DL65-150/27629	1,490	ｼｽﾃﾑ技術部	花坂寿章
067	卓上ニーダ	PNV-5H	740	材料技術部	前田拓也
072	電子パターンファブリックシステム	ERﾚﾋﾟｱﾙｰﾑ(00328)	3,500	繊維皮革部	角谷秀昭
080	複合型NC工作システム	NC-516U-WA	3,930	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
090	赤外線加熱回転ポット染色機	MINI-COLOR-V5	1,090	繊維皮革部	解野誠司
109	木製試験太鼓	木製　幅910×φ1212	990	繊維皮革部	田口義章

環境試験･測定装置

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
021	サンシャインウェザーオーメーター	WEL6XS-DS-B	1,180	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
037	塩乾湿複合ｻｲｸﾙ試験機	150-3-CY･R	550	材料技術部	時枝健太郎
048	恒温恒湿槽	AGX-326	1,160	繊維皮革部	鳥飼　仁
065	耐候暴露促進試験システム	3SUNHi35	1,990	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
066	耐光暴露促進試験システム	3SUNCi35A	2,230	繊維皮革部	解野誠司
093	環境試験機	TBE・3W4YP2QR	1,380	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	播摩重俊
113	軟X線検査装置	SV-100AW	1,080	ｼｽﾃﾑ技術部	徳本真一
121	環境試験室	TBE－2HW6P4C	3,100	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	梶本武志

デザイン開発機器

コードNo.	機器名	型式	基本料金(円)(1時間あたり)	担当部	担当者
012	プリント＆カッティングマシーン	CAMM JET CJ-70	310	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	由井　徹
016	ＣＧデザインシステム	Power Mac	260	工芸・ﾃﾞｻﾞｲﾝ部	由井　徹

備考

1. 使用時間が1時間に満たないとき、又は使用時間に1時間に満たない端数があるときは、1時間として計算する。

2. 県内に住所又は事業所を有する者以外の者の申請により貸し付ける場合は、当該基本料金の額に100分の20を乗じて得た額を加算する。

3. 写真、カラープリントその他の記録を必要とする場合及び特殊消耗品を必要とする場合は、別に実費を徴収する。

8. 技 術 相 談 、技 術 指 導、マーケット・イン商品化支援

技術相談（無料）

新製品開発、工程管理、製品不具合の発生など、技術上の様々な問題について、各分野の研究員がきめ細かい相談に応じます。
電話、FAX、Eメール、来所でも常時無料で相談に応じます。Eメールアドレスはホームページに掲示しています。
来所される前に、予めお電話等を頂き、用件の概要を話し、研究員にアポイントメントを取ることをお勧めします。
相談内容を、他に漏らすことは一切ありません。お気軽にお電話、ご来所下さい。

技術指導（無料）

研究員が企業に出向き、技術指導を無料で行います。
技術指導を希望される方は、研究員に電話等で、お申し込みください。

マーケット・イン商品化支援（有料）

事業者のデザイン力を向上させ、販売可能な商品を目的とする事業です。センター登録の客員相談員の中から、テーマに最適な指導員２名程度を選定し、製品、パッケージ、ロゴ等（一制作物、あるいは類似したシリーズを含む）のデザイン支援を行う単年度事業です。次年度以降に、販売実績が求められます。指導員への報償費、旅費は県が負担しますが、参加負担金として 100，000 円が必要です。その他、試作にかかる費用（材料費、印刷費、撮影費等）は、全て事業者の負担となります。対象は、県内に事業所を有する事業者で、新規性の高い商品、和歌山発の商品等が該当します。審査は応募された申請書で行います。
（募集は毎年４月に行います。）

お問い合わせ先

ＴＥＬ：073-477-1271（代）
ＦＡＸ：073-477-2880
E-mail:　wintec@wakayama-kg.go.jp

9. 共同研究、技術移転促進活動

共同研究

国補研究事業や工業技術センターの特別研究を実施する場合、研究を効率的に実施するために技術・知識を交換し、研究費用及び研究を分担することにより共同して行う研究です。所定の共同研究申請書を提出し、契約書を締結して、それぞれの研究内容の経費を負担して、共同研究を行います。

技術移転促進活動

研究成果普及広報　テクノリッジ、業務年報、研究報告の発刊。一日工業技術センター、研究成果発表会等を開催。展示会への出展、学会発表、論文投稿等の活動を通してセンター事業成果の積極的な普及広報を実施します。

提案公募型研究開発　国の競争的研究開発事業に積極的に提案し、外部資金の導入を図るための研究提案を行います。

新商品開発支援　工業技術センター保有特許を活用して新商品開発を希望する場合、実施契約を締結した後企業に対して開発支援を行うことができます。

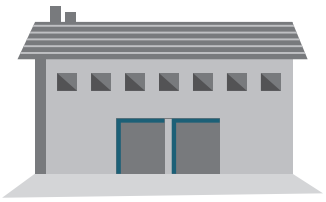
研究開発基盤の整備　地域産業の知識集約型・高付加価値型産業への基盤を整備するため先端分析機器の設備拡充を行います。

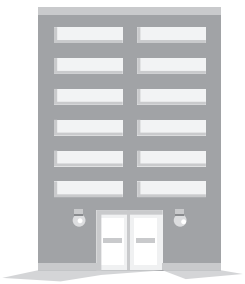
10. 受　託　研　究

受託研究は工業技術センターの研究員の専門的知識、ノウハウ、機器を利用し、企業の抱えている技術課題を、解決するとともに企業の研究開発を支援するものです。

ご利用の手順

企業





① 試験研究委託申請書の提出

② 受託研究契約締結

③ 経費納入

④ 研究開始

⑤ 報告書

和歌山県工業技術センター

電話：（073）477-1271

FAX:（073）477-2880

受付

受託研究は随時受け付けています。
各担当部署と協議のうえ、試験研究受託申請書を提出していただきます。

対象企業等

和歌山県内外の中小企業・財団および団体等

研究分野

繊維・染色　食品　高分子材料　金属無機材料　化学　環境　機械システム
電子システム　薬事　漆器　木質材料　皮革　デザイン関連　その他

経費の負担

研究内容に応じて、企業に研究経費（人件費、機器償却費、消耗品、光熱費）
を負担していただきます。
　＊一件当たり平均して 50 万円ほどです。

研究補助員等派遣

企業からの研究補助員を研究に派遣させることも可能です。

研究報告

研究終了後、研究報告を提出します。
研究結果資料、現物提供等により、報告書に代えることもあります。

結果の取り扱い

受託研究の結果、発明や考案が生じた場合、協議により持分を定めて、
特許等を共同で出願できます。

委託者の業務に支障が生じる場合は、協議によりその内容について公表
しないことができます。

＊15 年度 9 件、16 年度 22 件、17 年度 17 件、18 年度 25 件、19 年度 15. 件
の受託研究を行っています。

（別記第１号様式）

試験研究委託申請書

平成　　年　　月　　日

和歌山県工業技術センター所長様

（申請者）
住所

会社名　　㊞

代表者氏名　　㊞

和歌山県工業技術センター受託研究規則第２条の規定により、下記のとおり試験研究受託に関し申請します。

記

１　試験研究課題

２　試験研究目的

３　試験研究の内容

４　試験研究実施期間についての希望

５　試験研究費の金額及び納付についての希望

６　特許権等の実施についての希望

７　試験研究用資材及び設備の提供についての希望

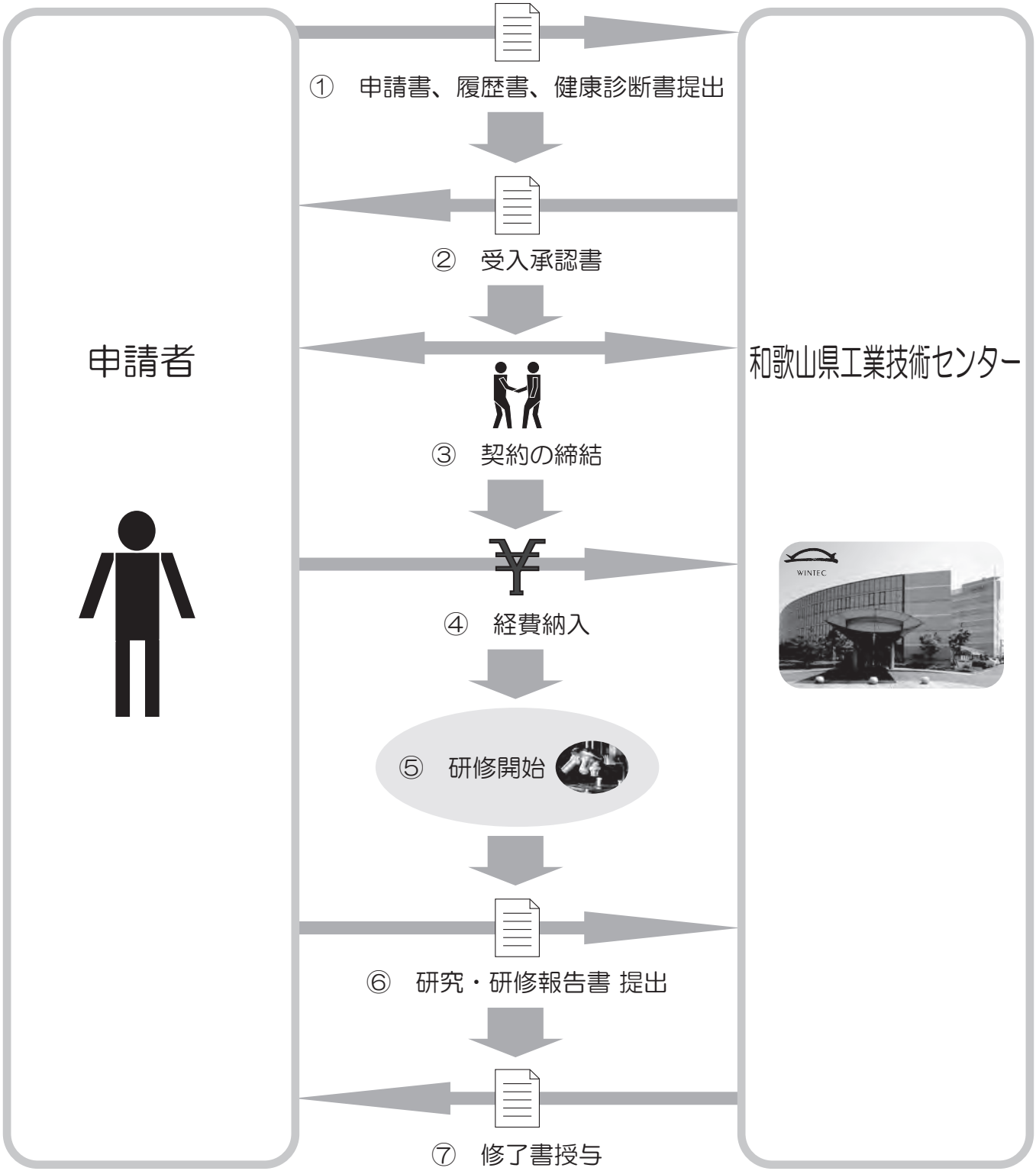
８　試験研究補助者の派遣についての希望

注：1.試験研究課題については公開することになっていますので注意してください。

11. 研究生・研修生の受入

工業技術センターでは、中小企業の技術者の養成及び能力の向上を図るため、基礎から応用技術までの研究指導、技術指導を行います。またこの制度により、当センターの技術開発研究のシーズを習得して頂き、企業に技術移転を行います。

ご利用の手順



対象企業等

- 公的試験研究機関または大学等において研究に従事している者
- 和歌山県内外の中小企業、県内に事務所を有する企業、またはこれに類する団体の業務に従事している者
- 上記の規定にかかわらずセンター所長が特に認めた者

受付

研究生・研修生の受入は随時受け付けています。

事前に、「研究生・研修生受入申請書」に履歴書、健康診断書（３ヶ月以上の場合）を添えて、所長に提出してください。
審査の後、受入が認められますと、「受入承認書」が送られます。その後技術研究・研修契約をして頂きます。

研修経費の負担

研究・研修に要する機器、器具等は工業技術センターに設置しているものを使用しますが、消耗品については、原則として、研究生・研修生側に負担して頂きます。

研修終了後

研修が実施され、終了しますと修了書が授与されます。

＊ 15 年度 37 名、16 年度 39 名、17 年度 46 名、18 年度 33 名、19 年度 40 名の研究生・研修生を受け入れています。

別記　第１号様式（第３条関係）

平成　　年　　月　　日

和歌山県工業技術センター所長　様

所在地

申請者

（代表名）　　㊞

研究生・研修生の受入申請について

和歌山県工業技術センター研究生・研修生受入要領に基づき、下記のとおり貴センターの研究生・研修生として受け入れてくださるよう申請します。

記

１　研究生・研修生の所属、職名、氏名及び担当職務（専攻科目）

２　受入希望期間

平成　　年　　月　　日（　　）から平成　　年　　月　　日（　　）まで

３　希望する研究・研修課題

４　研究・研修を必要とする理由

５　添付書類

（１）履歴書

（２）健康診断書（３か月以上の場合）

12. いきいき研究スタッフ派遣

県内中小企業の技術開発を人材面から支援するため、工業技術センターの研究員を、一定の期間、企業等に派遣し、研究開発等に必要な技術開発の支援を行います。

ご利用の手順

企業

和歌山県工業技術センター

① 研究スタッフ派遣依頼書の提出

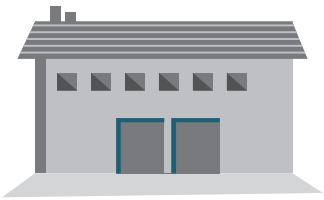
② 派遣決定の通知

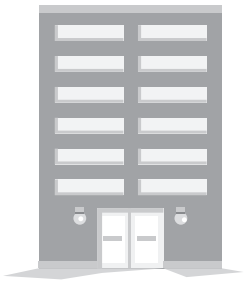
③ 派遣協定の締結

④ 経費納入

⑤ 研究職員の派遣

⑥ 結果報告





電話：(073) 477-1271

FAX: (073) 477-2880

対象となる技術開発

新製品・新技術の開発、製品の高付可価値化、生産工程の改善等に関する技術支援で、
派遣日数が５日以上の場合です。

業務の内容

技術開発のための試験、研究、分析、検査、評価等に関する技術支援です。

対象技術分野

対象技術は、次の 13 分野です。

技術分野	技　術　内　容
繊維	織物、編物、繊維機械、染色仕上
食品	発酵、酵素利用、一般食品加工
化学	化学合成、医薬品製造
高分子	高分子合成
医薬品	医薬品、医薬部外品、化粧品等製造・製造販売
皮革	皮革加工
木質	木材加工
漆器	漆器加工
機械・金属材料	精密測定、材料評価
機械・電子システム	機械システム設計、電子システム設計、計測制御
一般生産・管理技術	工程管理、品質管理・評価、プロセス設計・制御、省エネルギーシステム設計
環境技術	廃水処理、騒音対策、有害物質対策
デザイン	製品デザイン、グラフィックデザイン

派遣期間

１企業、原則として３ヶ月以内です。
ただし、特に必要がある場合は、期間を延長することがあります。

企業負担金

企業負担金として、１日につき 6,000 円を和歌山県に納めていただきます。
研究職員の派遣に要する旅費・滞在費用は和歌山県が負担いたします。

別記第１号様式

年　　月　　日

和歌山県工業技術センター所長　様

所在地

名　称

代表者名　　㊞

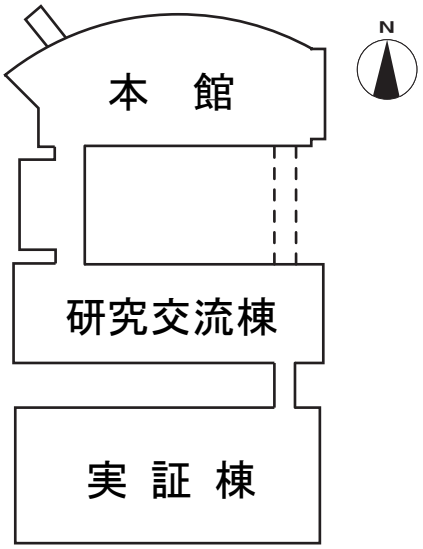
研　究　ス　タ　ッ　フ　派　遣　依　頼　書

次のとおり依頼したいので、いきいき研究スタッフ派遣事業実施要領第８条の規定により申し込みます。

１　技術開発の概要	
２　派遣を希望する技術分野	
３　派遣を希望する期間	年　　月　　日から 年　　月　　日まで
４　派遣場所	
５　備考	

13. 建物配置図

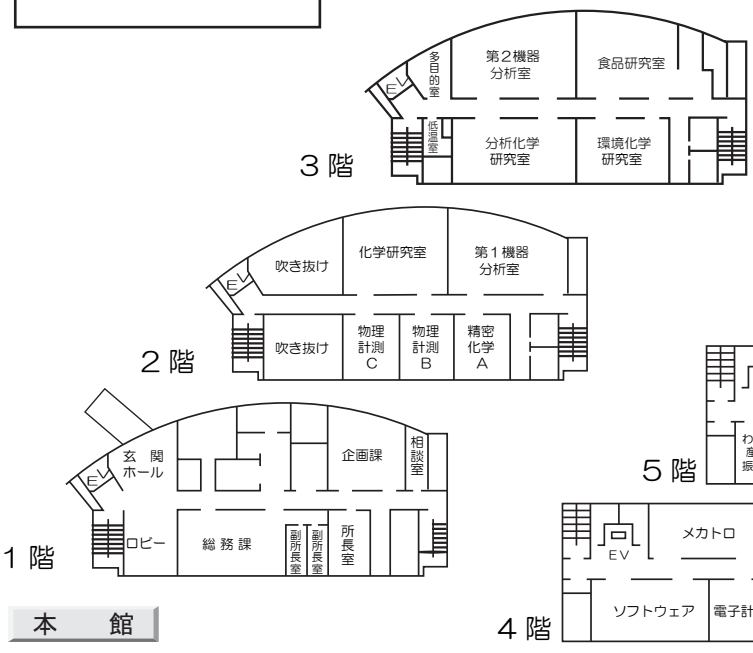
WINTEC



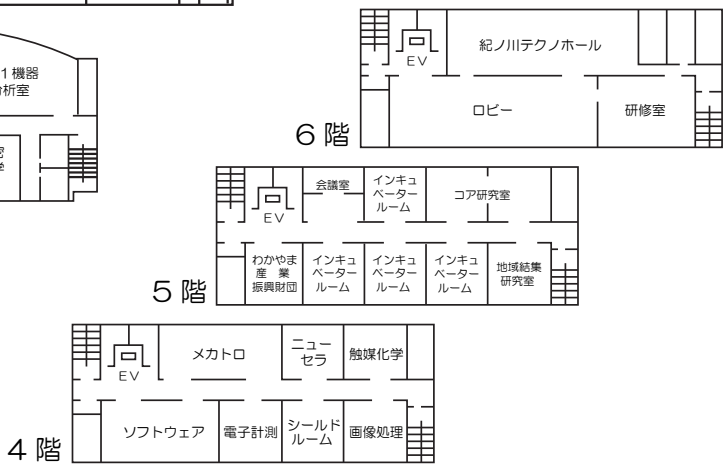
和歌山県工業技術センター

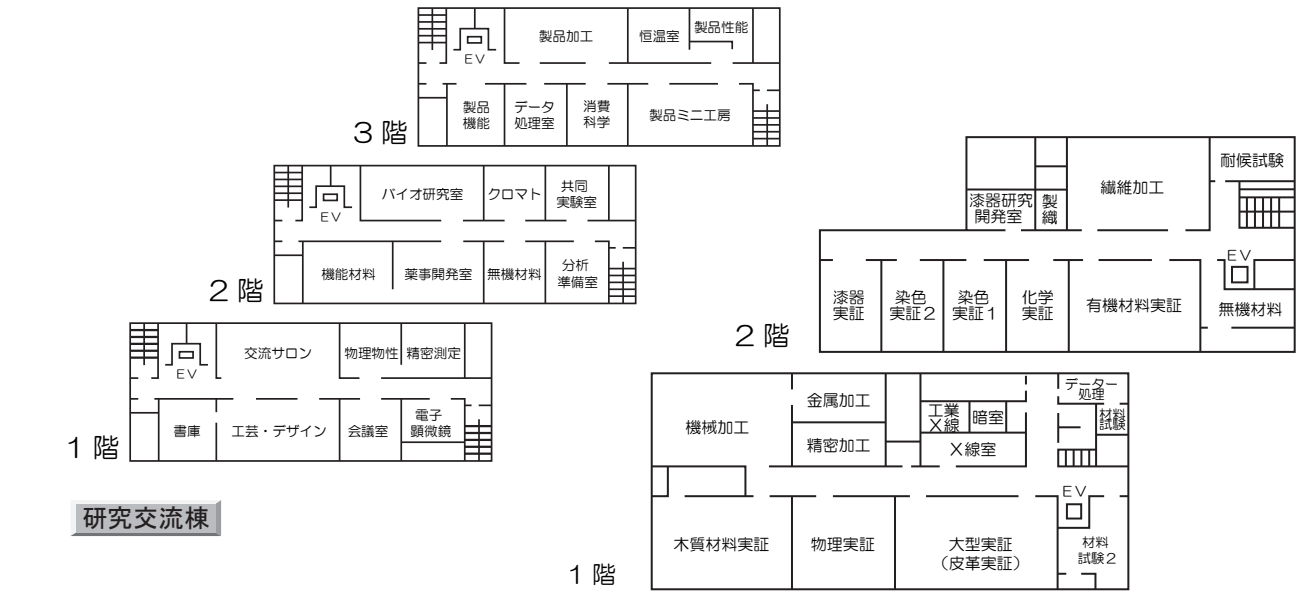
敷地面積／10,003.09㎡

本館	鉄筋コンクリート造り	3階建て	延べ床面積	2,348.89㎡
研究交流棟	鉄筋コンクリート造り	6階建て	延べ床面積	4,609.02㎡
実証棟	鉄骨造り	2階建て	延べ床面積	2,518.52㎡
機械棟	鉄筋コンクリート造り	2階建て	延べ床面積	292.94㎡
その他			延べ床面積	176.80㎡
			小　　計	9,946.17㎡



本　館





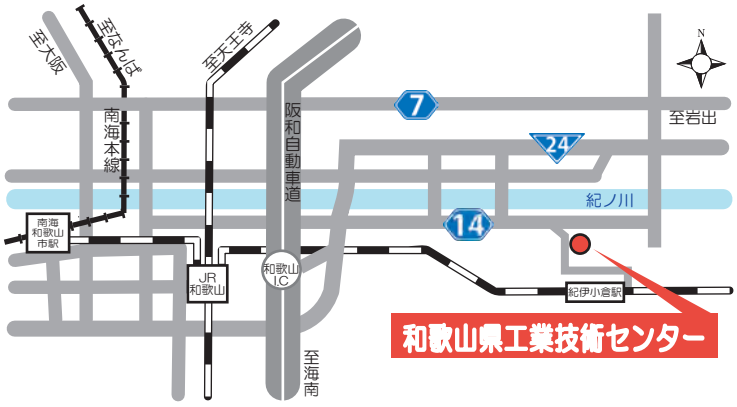
研究交流棟

実 証 棟

和歌山県工業技術センターご利用の手引き

平成 20 年 8 月 1 日発行
編集・発行：和歌山県工業技術センター
所在地：〒649-6261　和歌山市小倉 60 番地
電　話：（073）477-1271（代）
ＦＡＸ：（073）477-2880

アクセス：　南海和歌山市駅前より橋本行きバスで約 35 分
　　工業技術センター前バス停下車すぐ
　　：　JR 和歌山線紀伊小倉駅下車徒歩 10 分



H.P.　：　http://www.wakayama-kg.go.jp/